

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：こどもデイサービスウレル

2023 年度

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			目的に応じてスペースが適切に確保できるように配慮を心がけている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全と質の高い療育を目指し、配置基準を上回る人員で実施している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		2階のため階段を使用しているが、個々に合わせ職員が見守りと補助をしながら対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			運営規定・方針を軸として、職員全員で取り組んでいる。情報共有を常に心がけ、評価や改善を話し合う機会を多くとっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを通じて、業務改善に繋げるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の事業所内会議及び勉強会を実施している他、毎日のミーティングを実施、情報共有を大切にしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や利用者の意向を適切に分析し、個別に合わせた計画の作成に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動プログラムを立て、活動の目標や評価を打ち合わせの際に確認し合い次へ繋げている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別活動・グループ活動・集団活動での取り組みを適宜組み合わせたプログラムの提供を行っています。固定化されいような組み方に配慮している。

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、普段の目標にプラスし、新たな経験や体験ができる活動を多く設定している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の発達状況及び保護者の意向を踏まえ、個別活動・グループ活動・集団活動での取り組みを適宜組み合わせ支援計画を立てている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日打ち合わせを行い、前回の利用の様子を共有し、当日の利用者への配慮、注意点等を確認・共有する時間をとっている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			参加できない者もあり、記録の記入・連絡ノートを活用し共有に努めている。翌日の打ち合わせの時間にノートを活用して共有を深めている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を記入する時間を設けている。記録をもとに、振り返り・評価・改善につなげている。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			子どもの様子や保護者からの依頼により、必要に応じてケース会議を実施している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は医療的ケアを必要とする利用者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者からの聞き取りのほか、相談支援専門員を通し、情報共有に努めている。また、必要時には、児童発達支援事業所に訪問している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			特に法人内の障害福祉サービス事業所への情報共有を行っている。相談員を通じて情報共有を行っている。

者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○ 現在は、一緒に活動する機会はない。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			こども部会部会長として、自立支援ネットワーク全大会にも参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りの引き渡しの際に様子をお伝えしている。必要に応じ、電話連絡や面談を実施し共通理解できるよう努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		個々での対応は、実施している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			定期的な面談の他、必要に応じて個別に説明実施している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度相談に応じている。職員の中に心理カウンセラーもいるため、きめ細かな支援と相談に乗ることができる。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士のつながりを必要としないとの声が多いが、必要と感じている保護者もいるため、検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情委員会を設置している。関係機関にも連絡を取り、迅速に対応できるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2ヶ月に1度通信を発行し活動報告やお知らせなどの情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が漏れないよう、管理を徹底している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時にその日の様子を伝えたり、ラインを活用してお知らせしている。必要に応じて電話で連絡を取り合ったり、面談を実施している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域で暮らすことを目的とし、日常的に買い物や近くの公園に行ったりして、日々の活動を通して地域の方との関わりを深めている段階である。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれのマニュアルを策定し、研修・訓練を随時実施している。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		全体では2か月に1度火災、風水害、地震・津波を想定した訓練を実施している。その他、職員のみで訓練や確認等を定期的に行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員に対して虐待防止研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在身体拘束を必要とする子どもはいないが、やむを得ず必要となる場合には今後その旨を利用者や保護者に説明し、個別支援計画書に記載していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書の作成後は、速やかに職員に共有し、再発防止に向け検討している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

2023年度

提出保護者人数:29名

事業所名:こどもデイサービスウルル

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	2		・じっくり見る機会がない。 ・運動的なものを行うには、狭さを感じる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	2		・人数も多く安心できる。 ・実際の様子が分からない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	8		・2Fであり、階段がある。設備が必要な方は対象外になるのではと感じる。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	28	1		・まだ利用日数が浅いため、わからない。 ・課題を見つけだし計画してくれている。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29			・体操・音楽・書道など色々なことを取り入れてくれている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	16	9	・必要であると感じない ・そのような機会ができることを期待したい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	1		・帰りに当日の様子を聞き、気になる点は電話等で話し、状況を共有できている。 ・お互いに伝えあっている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	3		・普段職員と直接やりとりができないため(祖母に受け入れを頼んでいる)、伝えづらい部分やできていない部分を直接中々聞けていない。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	14	11	・参観会のようなものがあると良いのでは。 ・保護者同士の関りはないが、特に必要性を感じない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	3		日頃から様子を伝えあっているので安心して
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28		1	・ウルル通信で様子を知ることができ、毎回楽しみにしている。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	29		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	7	・防犯マニュアル・避難経路を知りたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	5	・通信で定期的に避難訓練を実施されている様子をお知らせしてくれている。 ・月の利用日数が少なく訓練時に利用できていないため。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	・毎回楽しみにしており、とても嬉しく思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	2	・学校ではフォローしきれない療育(友人との関り)がとてもありがたい。 ・安全に配慮して支援をして下さり感謝している。 ・活動の内容をよく考えて下さり、手厚い支援を頂き、とても満足しています。いつもありがとうございます。

※その他ご希望や不具合等お気づきの点がありましたら、ご記入下さい。

- ・長期休暇時の外出や外食の企画を子供が毎回とても楽しみにしています。
- ・学校の友達以外の子とも交流があり、子供も他校の子との関りを楽しみにしている。
- ・お迎えに行った際、多くの職員さんが気持ちよく挨拶してくれているため、こちら気持ちよく帰れます。
- ・子どもが、ウルルへ行くことをとても楽しみにしています。
- ・学校の予定変更などにも対応して頂きありがとうございます。
- ・食育活動やおやつ作りなど、家では中々できない経験をさせてもらいありがたいです。
- ・家ではできない体験ができてありがたいです。

沢山のご意見や感想を頂き、暑くお礼申し上げます。

職員一同、これらを励みにし精進して参りたいと話あったところでございます。また、不都合や改善点につきましては、ひとつひとつ行っていきたいと考えております。また、ご意見等はいつでもお聞かせ頂けると有難いと思っております。

今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

児童発達管理責任者：石田 有紀

ライフサポート チルル 評価表 (事業所向け)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境 ・ 体制 設備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースを工夫して利用しているので適切な広さです。</li> <li>・さらに利用者が増えた場合、狭い。</li> <li>・作業スペース、肢体スペースと余裕をもった配置ができています。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員基準は満たしています。</li> </ul>
	3 事務所の設備等は、スロープや手すりの設置、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切であるか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口に鍵をつけてほしい。</li> <li>・肢体用のトイレの手すりが活用できていない。</li> <li>・部屋内は段差はない。玄関には、簡易スロープの設置がしてある。</li> <li>・外の屋根をつけてほしい。</li> </ul>
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画されているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度利用者の様子を話し合い、目標設定や意識の統一を図るようにしています。</li> </ul>
	5 家族向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月より開所したため、今回から評価表を活用し、業務改善に繋げていきたいです。</li> <li>・1月に実施している。</li> </ul>
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回が初めての自己評価になるので今回より公表していきます。</li> </ul>
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は行っておらず、事業所・利用者様(ご家族)で行っています。</li> </ul>
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に必要な研修等を月に1回行っている。</li> <li>・職員会議の際、虐待防止・身体拘束等の研修を受けた。</li> <li>・外部講師を招き研修を行った。</li> </ul>

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、利用者と家族のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	5			・アセスメントやモニタリング等保護者との連携を取り作成している。
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか	5			・契約時にアセスメントツールを確保している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・職員会議で意見を出し合って立案している。 ・朝の会等もっと話合いの時間がほしい。
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫されているか	5			・職員会議で話し合い固定化しないように考えている。 ・マンネリ化しているが最近改善を図っている。 ・季節の行事等計画している。
	13	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	5			・体調や状況を把握しながら、個々に合った計画を作成している。
適切な支援の提供	14	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・短い時間ですが必要な情報は職員間で共有している。 ・時間がながい確認はできている。 ・朝、送迎前に全員で当日の計画・分担の確認を必ず行っている。
	15	支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	5			・時間のある時に振り返りを行い共有している。 ・ノートを活用し、共有漏れのないようにしている。 ・自然とスタッフ間で話合いができています。 ・毎日帰りの送迎が終わるとその日に気づいたこと改善点等全員で確認している。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・支援計画を基に日々の支援記録を行っている。 ・行動記録を午前と午後担当者が記入している。
	17	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・その都度モニタリングを行い見直している。



	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5			・制作や余暇の提供等を組み合わせ合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	19	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5			・主にサービス管理責任者が参加している。
	20	学校や就学時に利用していた放課後等デイサービスなどとの間で情報共有と相互理解に努めているか	5			・新卒の利用者に関しては、学校や法人内の放デイと情報共有ができています。途中からの利用の方は、前事業所等に情報を聞き共有しています。
	21	他事業所との連携に努めているか	5			・わからないことがあると以前利用していた事業所に様子を聞いて連携に努めている。
	22	同世代の方たちとの交流や障害のない方と活動する機会があるか	1		4	・開所したばかりで交流の場はまだ設けていない。 ・来年度に向けて色々な機会を設けていきたい。
	23	日頃から利用者の状況を家族と伝え合い、利用者の発達状況や課題について共通理解を持っているか	5			・ノートやLINE、電話等を活用し連携を図っている。 ・送迎時家での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えている。
	24	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1		4	・保護者から相談があった場合に相談員を通し支援していきたいです。
保護者への説明	25	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約時に説明している。
	26	家族からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・その都度話を伺い対応している。相談員とも連携を図っている。 ・送迎時、聞かれたことですぐに返事ができない時は必ず上司に報告している。
保護者への説明	27	利用者や家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		1	・現時点で苦情はありませんが、苦情があった場合に解決できるように情報共有を行っていきたい。
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	5			・月間予定表を配布している。

明	29	個人情報に十分注意をしているか	5			・個人情報のファイル等は鍵付きロッカーに保存し、使用したときはすぐに返却している。
非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、家族や職員に周知しているか	5			・それぞれマニュアルを作成し契約時に伝えている。
	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	5			・半年に一度訓練を行っている。
	32	虐待を防止するため、職員の研修を確保する等、適切な対応をしているか	5			・外部研修を取り入れて行っている。 ・職員会議で行っている
	33	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5			・契約時に説明している。個別支援計画に記載し、同意を得ている。記録を残し、保護者にも伝えている。
	34	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	2	・現時点で対象者がいません。
	35	ヒヤリハットの事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・ヒヤリハットを作成し、共有している。

令和5年度 ライフサポート チルル 評価表 (ご家族向け)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 設備	1 利用者様の活用スペースが十分に確保されているか	7	1		・個別に合わせていただきともありがたいです。 ・見学に行かせてもらった時は、利用者さんも少なく広々としていて、活動によって空間を分けていて、利用者さんによって使い分けができるようになっていて、良い雰囲気だと感じた。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1		
	3 事務所の設備等は、スロープや手すりの設置、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切であるか	6	2		・屋根がないので、車の乗り降りが濡れてしまい、付けて頂けたら嬉しいです。

	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感は感じられます。</li> <li>・活動によって部屋が分かれていてよいと思いました。</li> </ul>
適切な支援の提供	5	利用者様への職員の関りは適切であると感じるか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に合わせた支援を考えて取り組んでいて本人もストレスなく楽しみながら、通っていると思います。</li> <li>・よく見てくださっているのでありがたいです。</li> </ul>
	6	個別支援計画には、利用者様の支援に必要な項目が選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	7	1		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われているか	7	1		
	8	活動プログラムが固定化されないように工夫されているか	6	2		
	9	障害のない人と活動する機会があるか	4	4		
保護者への説明	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあるとすぐに連絡を頂けるので助かっている。</li> </ul>
	11	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	1		
	12	ご家族に対して面接や助言等の支援が行われているか	8			
	13	利用者様やご家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに利用者様やご家族に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	14	利用者様やご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度報告をして下さり大変助かります。</li> </ul>
	15	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、利用者様やご家族に対して発信しているか	8			
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7	1		
非常時等	17	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	3		

の 対 応	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	5	3		
満 足 度	19	利用者様は通所を楽しみにしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で言うことはないが、表情が良い。</li> <li>・とても満足していると思います。</li> <li>・本人にたくさん声掛け等で関わってくださり、大変喜んでいる。</li> </ul>
	20	事業所の支援に満足しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろと考えて下さり食事等工夫をして下さりありがたいです。</li> </ul>

# 貸借対照表

特定非営利活動法人静岡家庭教育センター協会  
全事業所

[税込] (単位:円)  
2024年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未 払 金	684,998
現 金	54,615	一年以内返済長期借入金	1,744,000
しずおか焼津信用金庫 豊田支店	487,196	預 り 金	96,637
焼津豊田郵便局	345,267	流動負債 計	2,525,635
島田掛川信用金庫 西焼津	5,826,063	<b>【固定負債】</b>	
島田掛川信用金庫 生活介護	92,715	長期借入金	25,874,074
現金・預金 計	6,805,856	私募債	1,800,000
(売上債権)		固定負債 計	27,674,074
売 掛 金	7,993,097	<b>負債の部合計</b>	<b>30,199,709</b>
売上債権 計	7,993,097	<b>正 味 財 産 の 部</b>	
(その他流動資産)		<b>【正味財産】</b>	
前払 費用	230,000	前期繰越正味財産額	△5,463,002
立 替 金	△82,792	当期正味財産増減額	△1,339,070
その他流動資産 計	147,208	正味財産 計	△6,802,072
流動資産合計	14,946,161	<b>正味財産の部合計</b>	<b>△6,802,072</b>
<b>【固定資産】</b>			
(有形固定資産)			
建 物	6,683,294		
建物附属設備	76,279		
構 築 物	33,930		
車両運搬具	429,034		
什器 備品	898,199		
有形固定資産 計	8,120,736		
(投資その他の資産)			
敷 金	282,600		
長期前払費用	48,140		
投資その他の資産 計	330,740		
固定資産合計	8,451,476		
<b>資産の部合計</b>	<b>23,397,637</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>23,397,637</b>

# 特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人静岡家庭教育サポート協会  
全事業所

[税込] (単位:円)

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

## 【経常収益】

### 【受取会費】

正会員受取会費 292,350

### 【受取寄付金】

受取寄付金 17,200

### 【受取助成金等】

受取委託金(焼津市) 159,600

NHK歳末助け合い助成事業 50,000

### 【事業収益】

フリースペース相談等事業収益 3,500

チャイルドライン等事業収益 318,251

放課後等デイサービス 27,604,560

生活介護 13,865,130

### 【その他収益】

受取利息 28

雑収益 1,297,128

経常収益計

43,607,747

## 【経常費用】

### 【事業費】

#### (人件費)

給料手当(事業) 24,618,811

福利厚生費(事業) 109,097

人件費計 24,727,908

#### (その他経費)

会議費(事業) 642

旅費交通費(事業) 30,300

通信運搬費(事業) 72,683

消耗品費(事業) 1,835,363

修繕費(事業) 340,915

水道光熱費(事業) 101,815

地代家賃(事業) 1,351,611

賃借料(事業) 88,540

減価償却費(事業) 687,638

接待交際費(事業) 35,402

保険料(事業) 350

諸会費(事業) 23,000

租税公課(事業) 80,704

研修費 51,529

支払手数料(事業) 129,500

支払寄付金 94,792

雑費(事業) 69,169

その他経費計 4,993,953

事業費計

29,721,861

## 【管理費】

### (人件費)

役員報酬 2,640,000

# 特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人静岡家庭教育サポート協会  
全事業所

[税込] (単位:円)

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

法定福利費	3,088,881	
福利厚生費	506,013	
人件費計	6,234,894	
(その他経費)		
会議費	24,636	
通信運搬費	415,312	
消耗品費	60,179	
修繕費	131,800	
水道光熱費	545,242	
地代家賃	2,863,750	
広告宣伝費	135,960	
減価償却費	2,198,348	
保険料	769,369	
諸会費	3,000	
リース料	624,360	
租税公課	169,700	
管理諸費	933,790	
支払利息	91,846	
雑費	22,770	
その他経費計	8,990,062	
管理費計		15,224,956
経常費用計		44,946,817
当期経常増減額		△1,339,070
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△1,339,070
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		△1,339,070
前期繰越正味財産額		△5,463,002
次期繰越正味財産額		△6,802,072

**【損益計算書の注記】**

管理費の合計額については、事業費のうち給料手当・アルバイト・ボランティアの合計額より、従事度合いにより収益事業へ配賦しました。(別紙参照：配賦率98.48%)